

特記仕様書

工事名称	トイレ洋式化改修工事（本郷保育所）
工事場所	三原市本郷南五丁目
工事内容	本郷保育所のトイレの洋式化を行う。 【工事概要】 - 給排水衛生改修工事 - 洋風大便器 3箇所 - 洋風大便器（乳児用） 2箇所 - 洋風大便器（幼児用） 2箇所（うち1箇所既設再取付）
準 則	公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書（各 令和7年版 国土交通省官房官庁営繕部監修）に基づき施工する。
関係法令等	本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。 ・建築基準法、同施行令、同施行規則 ・消防法、同施行令 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則 ・労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則 ・建設業法、同施行令、同施行規則 ・建設工事公衆災害防止対策要綱 ・石綿障害予防規則 ・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法 ・建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令 ・その他関係法令
疑義変更	本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。 施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて受注金額の増減はなきものとする。 本設計図書と不整合が確認されて設計変更（増額）が必要な場合は、その変更数量が確認できる根拠としての写真などの記録が存在し、かつ監督員に承認されたもの以外は認められない。
提出書類	施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。 商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。 設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。
工 期	本工事は請負契約締結の後、令和8年3月31日をもって工期とする。 このうち検査期間として13日間を見込んでいる。（工事の完成通知予定日は令和8年3月18日。）
留意事項	・図面に明示されていない事項であっても、工事上必要とされる事は工事範囲とする。 ・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。 ・図面について、設計者からの設計意図等の説明が必要な場合は申し出ること。 ・作業日は、原則、月曜日から金曜日とし、土曜日及び日曜日は休工期とすること。 ・行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。 ・本工事は「発注者指定型」による週休2日適用工事の対象工事であり、「三原市週休2日適用工事等実施要領（建築工事）」（令和7年6月24日改定）により工事を行うこと。 ・工事着手前までに「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」に取り組むことを工事打合せ簿にて

提出すること。

- ・「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」である旨の表示を工事現場に設置すること。
- ・月単位の週休2日適用工事を達成できなくなった場合は、対象期間中の現場閉所（現場休息）の状況に応じた補正係数により労務費を減額する。
- ・本工事は居ながら工事を基本とし、必要に応じて保育士、園児等の通行制限を行うこととする。
工事の詳細については、事前に施設管理者等への説明を行って承諾を得ること。
- ・デジタル化を積極的に推進すること。
- ・紙資料の削減を目的として、電子機器の利用を主とすること。
- ・定例会の資料は、電子データを原則とすること。
- ・受注者は各定例会の前日までに必要な資料を所定の場所に提出すること。
- ・着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
- ・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
- ・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り扱い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法等を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
- ・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
- ・施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。養生や移動を行う場合は、事前に施設管理者または所有者に連絡すること。
- ・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、現状復旧に努めること。
- ・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
- ・場内に喫煙所を設ける場合は、施設使用者と近隣住民へ配慮し、設置位置と使用方法を協議してから設けること。使用方法を作業員に周知徹底すること。
- ・工事区域内の残置する設備配管・配線等については、事前に位置を確認してから作業を行うこと。事前調査記録を作成すること。
- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・図面等に示されている仮設等についても、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって設置、施工すること。
- ・台風等の強風等異常気象が見込まれる場合は、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。また、必要に応じて現場巡視と災害防止対策を行うこと。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- ・工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
- ・石綿含有建材の調査（書面・目視調査、分析調査調査及び検体採取を含む）について、工事着手前までに一般建築物石綿含有建材調査者、または特定建築物石綿含有建材調査者が行うこと。
- ・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。
- ・石綿含有分析調査は試料採取と分析調査費を見込んでいる。分析は定性（JIS A 1481-1。含有の場合は、含有する層の判定も行う。）による。
- ・作業員に対して、新規入場教育時に石綿含有建材の使用位置を確認させること。
- ・石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル(最新版)に基づくこと。
- ・工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・品質について、社内検査員(当該工事に従事していない者)を定め、設計図書に基づき社内検査を実施し、書類等の記録に残すこと。
- ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。（理由については、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注できない具体的な理由を明記すること。）
- ・製本図面（A3縮小版・二つ折り）として完成図を3部提出すること。
- ・以下の設計図面は、A2判をA3判に縮小している。（縮小率約70.7%）

トイレ洋式化改修工事（本郷保育所）

番 号	図面名	縮 尺
M-00	表紙、図面リスト	――
M-01	機械設備特記仕様書（一般共通事項）	――
M-02	機械設備特記仕様書（工種別事項）	――
M-03	配置図 付近見取図 管種凡例	1/300
M-04	衛生設備 1階平面図	1/150
M-05	衛生設備 改修前後 器具表 平面詳細図（便所A）	1/50
M-06	衛生設備 改修前後 平面詳細図（便所D・E）	1/50
M-07	（建築工事） 改修前後 仕上表 建具表 便所A天伏図	1/50
M-08	（建築工事） 改修前後 便所A展開図	1/50
M-09	（建築工事） 改修前後 便所D展開図	1/50
M-10	（建築工事） 改修前後 便所E展開図	1/50
M-11	改修後 コンセント設備 便所A・D平面詳細図	1/50

[illegible]

空 気 調 和 ・ 換 気 設 備	1. 設計用温湿度条件	<table><tr><th colspan="2">外 気 条 件</th><th colspan="2">室 内（調整目標値）</th></tr><tr><th>温度（DB）</th><th>湿 度</th><th>温度（DB）</th><th>湿 度</th></tr><tr><td>夏季</td><td>30. 9℃</td><td>64. 0%</td><td rowspan="4">28. 0℃</td><td rowspan="4">45 %</td></tr><tr><td>9時</td><td>34. 3℃</td><td>52. 0%</td></tr><tr><td>12時</td><td>35. 2℃</td><td>50. 0%</td></tr><tr><td>14時</td><td>34. 7℃</td><td>51. 0%</td></tr><tr><td>冬季</td><td>0℃</td><td>70. 0%</td><td>19. 0℃</td><td>成り行き</td></tr></table>	外 気 条 件		室 内（調整目標値）		温度（DB）	湿 度	温度（DB）	湿 度	夏季	30. 9℃	64. 0%	28. 0℃	45 %	9時	34. 3℃	52. 0%	12時	35. 2℃	50. 0%	14時	34. 7℃	51. 0%	冬季	0℃	70. 0%	19. 0℃	成り行き	25. 消音内貼り	1) 空調用の吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。 2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として400×600とする。 防振基礎の防振材及び振動絶縁効率は、標準仕様書および標準図によるほか、図示による。 日本冷凍空調工業会（冷凍空調機器用水質ガイドライン）による。 28. フィルター・予備品	排 水 設 備	3. 汚水、雑排水及び汚物用水中モーターポンプ 4. 接続納付金等 5. 樹のコンクリート巻き 6. 満水試験継手	水中三相誘導電動機は、（※ 乾式 ・ 油封式 ）とする。 電動機の極数は図示による。 着設装置、ストレーナー及び水中ケーブルの長さは図示による。 ※ 別途工事 ・ 本工事 小口径樹等はコンクリート巻き仕上げとする。（但し舗装等の仕上げ部分は除く。）（施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。） 図示の位置に取り付ける。	石綿含有設備資材の処理について
	外 気 条 件		室 内（調整目標値）																																
温度（DB）	湿 度	温度（DB）	湿 度																																
夏季	30. 9℃	64. 0%	28. 0℃	45 %																															
9時	34. 3℃	52. 0%																																	
12時	35. 2℃	50. 0%																																	
14時	34. 7℃	51. 0%																																	
冬季	0℃	70. 0%	19. 0℃	成り行き																															
② 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 冷水・温水・冷温水 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） 2) 膨張・空気抜・補給水 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） 3) 冷却水 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） 4) 冷媒 ・ 断熱材被覆鋼管 5) 空調用給水 ・ ステンレス鋼管（SUS304） 6) 空調用排水 ① 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管 ② 硬質ポリ塩化ビニル管（カラーVP）	図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 トラップの形式はフロートボール式（床置型） ※ FRP製保温型 1) 厚さ ※ 3. 2mm ・ 4. 5mm 2) ばい煙濃度計 ・ 取付ける ・ 取付けない 3) ばいじん量測定口（80φ×2） ※ 取付ける ・ 取付けない 4) 伸縮継手及び掃除口は図示による。 投光器及び受光器は、送風器付きとする。 標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。 コイル通過後のケーシングに錆じる表面結露対策は ※ 不要 ・ 図示による。 風量30. 000m3/hを超える機器の許容騒音レベルは、図示による。	3. 弁類 4. 空調機用トップ 5. 銅板製煙道	排 煙 設 備	1. ダクト 2. 排煙口 3. 排煙口開放及び復旧方式 4. 排煙風量測定	※ 垂鉛鉄板製 ・ 鋼板製（厚1. 6mm） ・ パネル形 （ ・ 天井取付 ・ 壁取付 ） ・ スリット形 （ ・ 天井取付 ・ 壁取付 ） ・ ダンパー形 （ ・ 天井内取付 ） 電気式（遠隔操作 ※ 不要 ・ 要 ） 排煙口から手動開放装置への配線は、標準仕様書第4編1. 5. 1表4. 1. 1による耐熱・耐火ケーブルとする。	給 湯 設 備	1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) ・ 保温付被覆鋼管 ・ 鋼管 ・ ステンレス鋼管 ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ 架橋ポリエチレン管 2) 湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 ただし、公営水道に直結する部分及び特記部分は、10Kとする。 湯沸器の給排気風の隠べい箇所は保温 h・(イ)・Ⅸ を行う。																										
③ 弁類 4. 空調機用トップ 5. 銅板製煙道	冷温水管の接続部（往・還）にはボール弁を取付ける。 ※ 流量調整弁 ・ 定流量弁 を取付ける。 （ 定流量弁の場合は ・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形 ） 床置形にはサブドレンパンを設ける。材質等はドレンパンに準ずる。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 内外渡配線は、原則として冷媒管と共巻きとする。（エアコン含む） パッケージ形空調調和機の記載による。			自 動 制 御 設 備	1. システム構成・機能 2. 自動制御機器 3. 自動制御盤 4. 中央監視制御装置 5. 計装工事の配線	図示による。 調節器等の取付け高さは ※ 1300mm ・ 屋内用キャビネットは ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 ・ 有り（構成機能は図示による） ・ 無し 1) 屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井隠べいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 2) 原則として、次の用途に使用する電線類はEMケーブルとし、規格は一般共通事項3.9.電線類の規格による。 （機器、盤類はこれによらずともよい） 用途：①電源線、接地線 ②電気式の調節器（サーモ・ヒューミ等）用電線 ③各種検出器（温度・湿度等）、操作器（バルブ・ダンパー等）における弱電信号、通信線を除く制御線	消 火 設 備	1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 屋内消火栓 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） 地中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（SGP-VS） 2) 連結送水管 一般配管用 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Sch40） 地中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（STPG370-VS） 3) 一般配管用 ・ ※ 10K ・ 16K 1) 呼水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 2) 充水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 3) 消火配管の保温は次による。 （屋外露出、寒冷地は保温種別 e2・(ハ)・Ⅶ による） ・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する ・ スプリングクーラー ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結送水 ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結散水 ※ 施工しない ・ 施工する ※ 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓 ・ 1号消火栓 開閉弁の材質は ・ 鋳鉄製（要部青銅製） ・ ステンレス鋳物製 箱の材質は ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製																										
⑩ パッケージ形 空調調和機 11. マルチパッケージ形 空調調和機 ⑫ 集中管理リモコン ・ 個別リモコン	リモコンの系統区分は図示による。			衛 生 器 具 設 備	1. 一般事項 2. 小便器用節水装置 3. 自動水栓 4. 大便器用洗浄弁 5. 温水洗浄便座 6. 器具と排水管接続 7. 水栓	型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。 大便器、小便器には、標記板（アクリル板に印刷可）を取付ける。 形式は（ ※ 小便器一体型 ・ 小便器分離型 ）とする。 洗浄水量4リットル/回以下とする。 ※ 個別感知方式（ ※ AC電源 ・ 乾電池 ） ・ 手動式 電源種別は ※ AC電源 ・ 自己発電 ・ 乾電池 車椅子用洗面器に設ける自動水栓に手動スイッチを、 ※ 設ける ・ 設けない 操作方式 電気開閉式（ ・ センサー式 ・ タッチスイッチ式 ） ・ 手動式 洗浄水加温方式は（ ・ 瞬間方式 ・ 貯湯方式 ）とし、付加機能は図示による。 ※ 標準図（施工6.5） ・ 標準図（施工6.6） ・ 水栓は節水コマ付きを採用する。 ・ 水栓ハンドルは極力レバー式を採用する。	ガ ス 設 備	1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による 3. ガス漏れ警報器 4. 充てん容器 5. バルク貯槽 6. ガスメーター 7. 容器廻りの配管 8. 容器転倒防止	ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1) 都市ガス ガス事業者の定めによる。 2) 液化石油ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） 地中埋設用 ・ ポリエチレン被覆鋼管 ※ 不要 ・ 要（取付け位置は図示による。外部出方端子 ・ 不要 ・ 要 ） 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg ____ 本 ※ 借用 ・ 買取り ・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 ____ kg ・ 借用 ※ 買取り 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式（ ・ 直読 ・ 遠隔表示 ） 施工方法は標準図（施工7.3）の ・ (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図（施工7.4）の ・ (a) ・ (b)																										
13. オイルポンプ 14. 地下オイルタンク 15. オイルサービスタンク 16. ダクト	形式 ※ 渦流形 ・ 歯車形 1) 据付け方法は ※ 標準図（施工3.2）（二重殻タンク） ・ 標準図（施工3.3）（タンク室有り） 2) 保護被覆は ※ FRP ・ エポキシ樹脂 ・ アスファルト 3) 遠隔油量指示装置（液面計は（ ・ 抵抗変化式 ・ 磁壺式 ）で（ ・ 屋内 ・ 屋外 ）より油量監視用）を取付ける。 4) 基礎杭は ※ 不要 ・ 要（但し杭は ※ 別途工事 ・ 本工事 ） 5) 土留め工事は ※ 不要 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事 ） 油面計はゲージ式（側圧式）とする。 1) ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト 2) 長方形ダクトは ・ コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ） （ただし、長辺が1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする） ・ アングルフランジ工法 3) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1. 6mm厚鋼板製とする。 4) 厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」による。 1) シーリングディフューザーの接続は標準図（施工4.9）を参考とする。 2) 接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 3) 線状吹出口には、長さ+100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 4) 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合は、雨水等を自然に排出できるように勾配をつける。 原則、垂鉛鉄板製とする。			給 水 設 備	1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 一般配管用 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VB・FVB） ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP） ・ 架橋ポリエチレン管 2) 土間配管用 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VD・FVD） ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP） ・ 架橋ポリエチレン管 3) 地中配管用 ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP） ・ 水道配用ポリエチレン管 ・ 水道用ポリエチレン二層管 1) 公営水道に直結する配管に使用するものの耐圧は、10Kとする。 2) 受水タンク以降の配管に使用するものの耐圧は、5Kとする。 3) 給水引込部の（ ・ 止水栓 ・ 弁樹 ）は水道事業者指定品とする。 1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り（ ・ 直読 ・ 遠隔表示 ） 2) 子メーター ※ 買取り ・ 借用（ ・ 直読 ・ 遠隔表示 ） 現地表示式（直読式）の表示機構は ※ 湿式アナログ式 ・ 乾式デジタル式 遠隔表示式は（ ※ バルブ式 ・ 電文式 ）発信器を備える。 1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図（機材5.7） 2) 子メーター用 ※ 標準図（機材5.7） ・ 水道事業者の指定品 ・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品 ・ 定流量弁を定水位調整弁の事前に設置する。 遮断弁の駆動方式は（ ※ 電気式 ・ 機械式 ）とする。 ※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による 寸法 ※ 全長約1500mm ・ 図示による 1) 屋外の水栓は ・ キー式ハンドル 2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。 給水栓用配管の接続口を（ ※ 設ける ・ 設けない ）ものとする。 2槽式の場合は、連通管を設けるものとする。 ※ 別途工事 ・ 本工事 弁ボックス、散水栓ボックス等はコンクリート巻き仕上げとする。（但し舗装等の仕上げ部分は除く。）（施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。）	浄 化 槽 設 備	1. 処理種別及び方式 2. その他	・ 小規模合併処理（ ・ 担体流動生物濾過方式 ・ 嫌気分離接触ろ床方式 ） ・ 合併処理（ ・ ） 図示による。																										
17. チャンパー等 18. 吹出口・吸込口のボックス 19. グリス除去装置 20. 風量測定口	・ グリスエクストラクター ・ グリスフィルター 標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ 空調機のサプライチャンパーからの分岐ダクト ・ 外気取入れダクト 標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ 空調調和機、全熱交換器廻りの遠気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト 機器付属以外の温度計は ※ バイメタル式温度計 ・ ガード付きL形温度計 標準図によるほか図示した箇所に取付ける。			雨 水 利 用 設 備	1. システム構成その他 2. 配管材料 3. 弁類 4. 量水器 5. 雨水電動遮断弁 6. 網かご形スクリーン 7. 薬液注入装置	図示による。 1) 一般配管用 ・ ポリ粉体鋼管（SGP-PA）（SGP-FPA） 2) 土間配管用 ・ ポリ粉体鋼管（SGP-PD）（SGP-FPD） 3) 地中配管用 ・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP） 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 ※ バルブ式 ・ 直読式 ※ ナイフ仕切弁 ・ 偏心式プラグ弁 ・ バタフライ弁 目幅の有効間隔は（ ※ 5mm ・ mm ）とする。 構成その他は図示による。		冷媒の回収方法について	冷媒の回収方法は次による。回収費・処分費は（ ※ 本工事 ・ 別途工事 ）とする。 （1）「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）」に従って行い、監督職員に次の書類を提出する。 ・ 第1種フロン類充填回収業者の登録通知書（都道府県知事登録）の写し ・ 事前確認書の写し ・ 回収依頼書の写し ・ 引取証明書 ・ 破壊証明書の写し （2）ルームエアコン等で、「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクル「冷媒の回収は原則としてポンプダウンによる。」を行い、監督職員に次の書類を提出する。 ・ 特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）の写し																										
21. 温度計 22. 圧力計 23. 定風量・変風量ユニット 24. 冷温水管等のエア抜き	1) エア溜まりを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置にエア抜き弁装置（※ 手動 ・ 自動 ）を設ける。 2) 自動エア抜き弁装置は、標準図（施工3.8（g））による。 3) 機械室の手動式エア抜き配管で、特記のない場合の保温範囲は原則として分岐部より2mとする。			排 水 設 備	1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 屋内汚水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（FS-VP） 2) 屋内雑排水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） （第1樹まで含む） ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（FS-VP） ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 3) 通気管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（FS-VP） 4) 屋外排水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VU） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（車道部） 記号 COAD は掃除口を兼用する排水金物を示す。																													

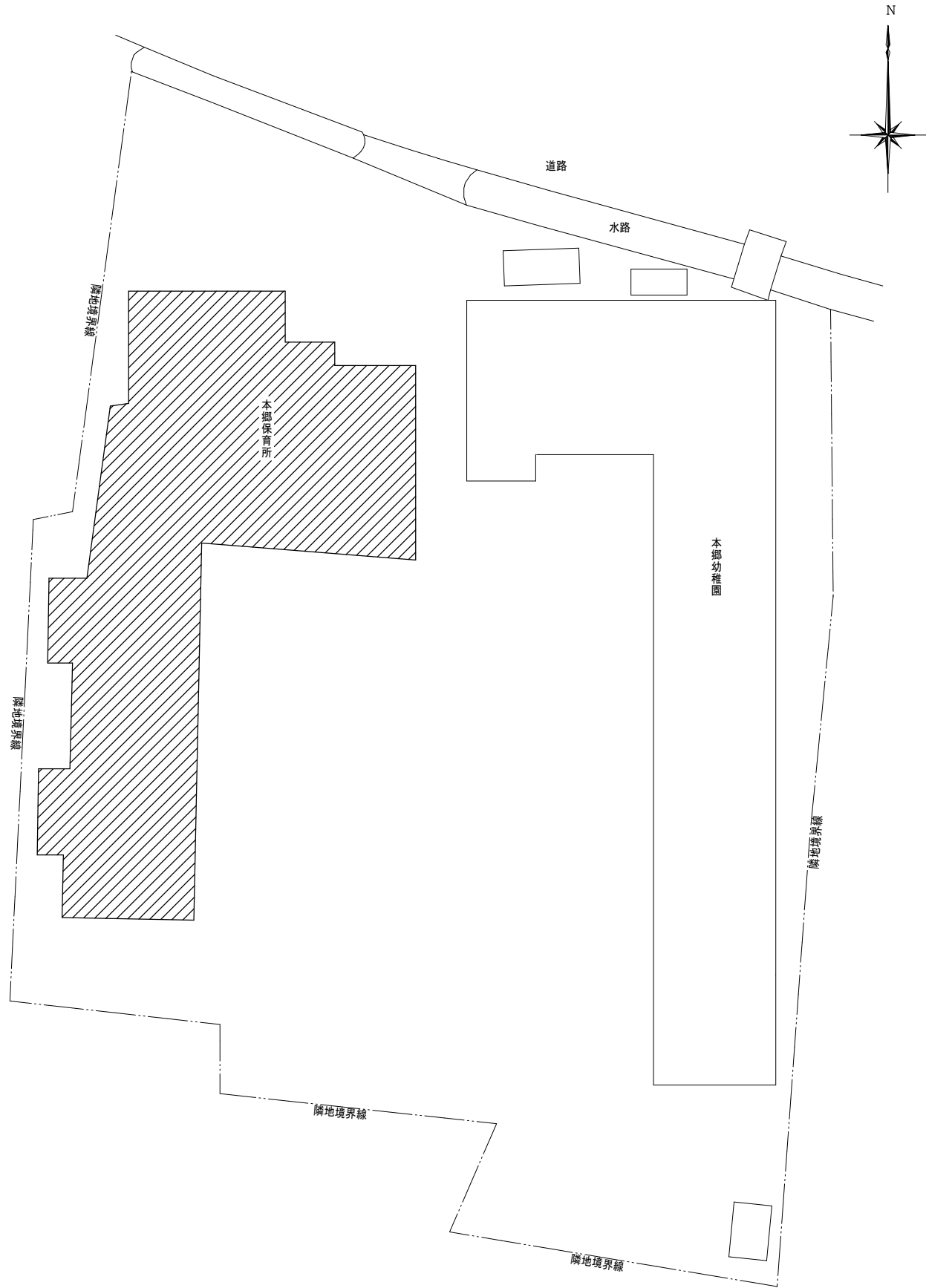
トイレ洋式化改修工事（本郷保育所）	
特記仕様書（工種別事項）	M
02	



工事場所：本郷保育所
三原市本郷南五丁目

付近見取図

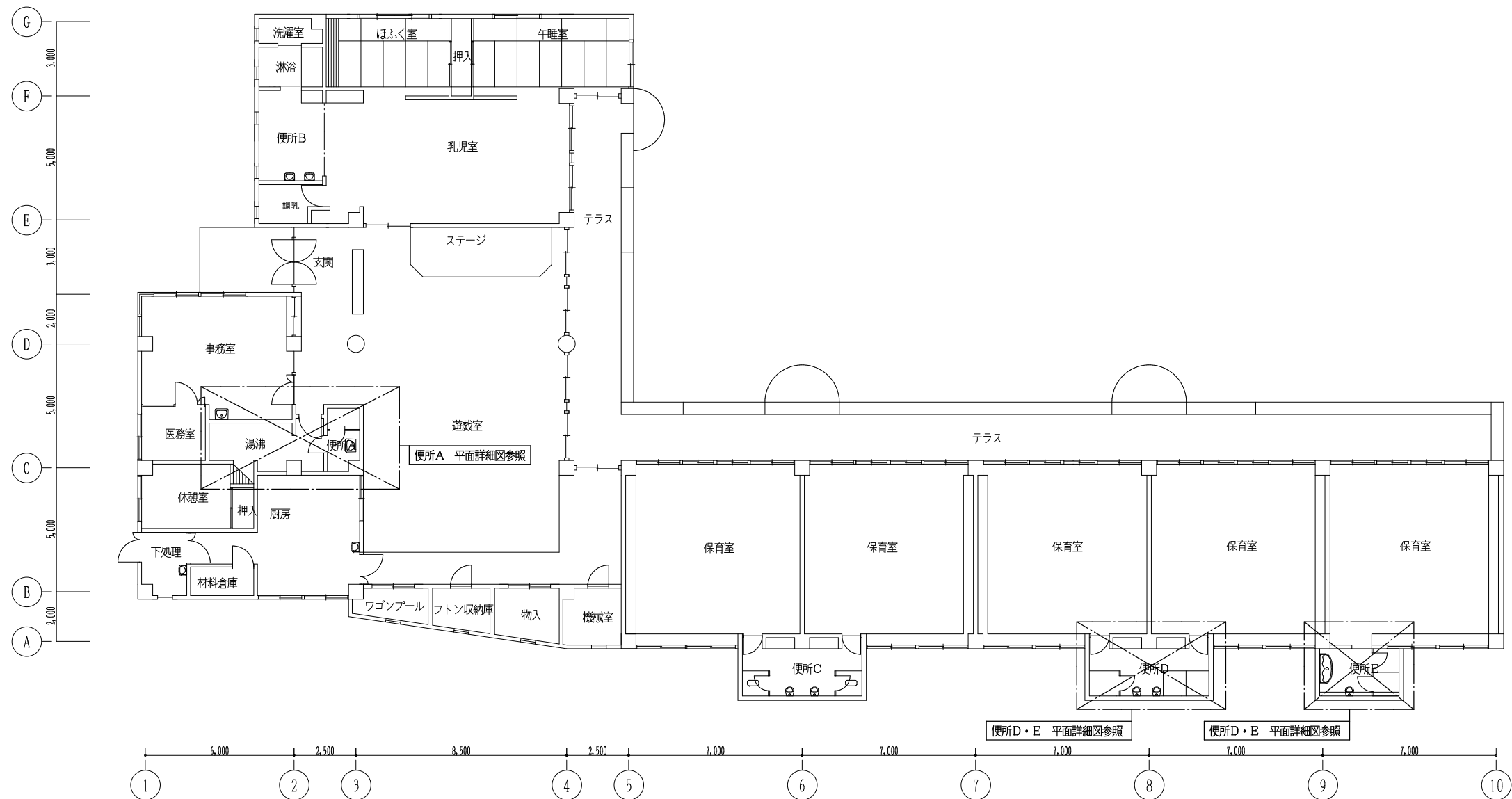
管 種 凡 例			
記 号	名 称	仕 様	
----	給 水 管	水道用硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP） J I S K 6 7 4 2	※改修後
		水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VB） J W W A K 1 1 6	※改修前
——	汚 水 管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP） J I S K 6 7 4 1	
——	雑 排 水 管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP） J I S K 6 7 4 1	
----	通 気 管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP） J I S K 6 7 4 1	



配置図 S = 1 / 3 0 0

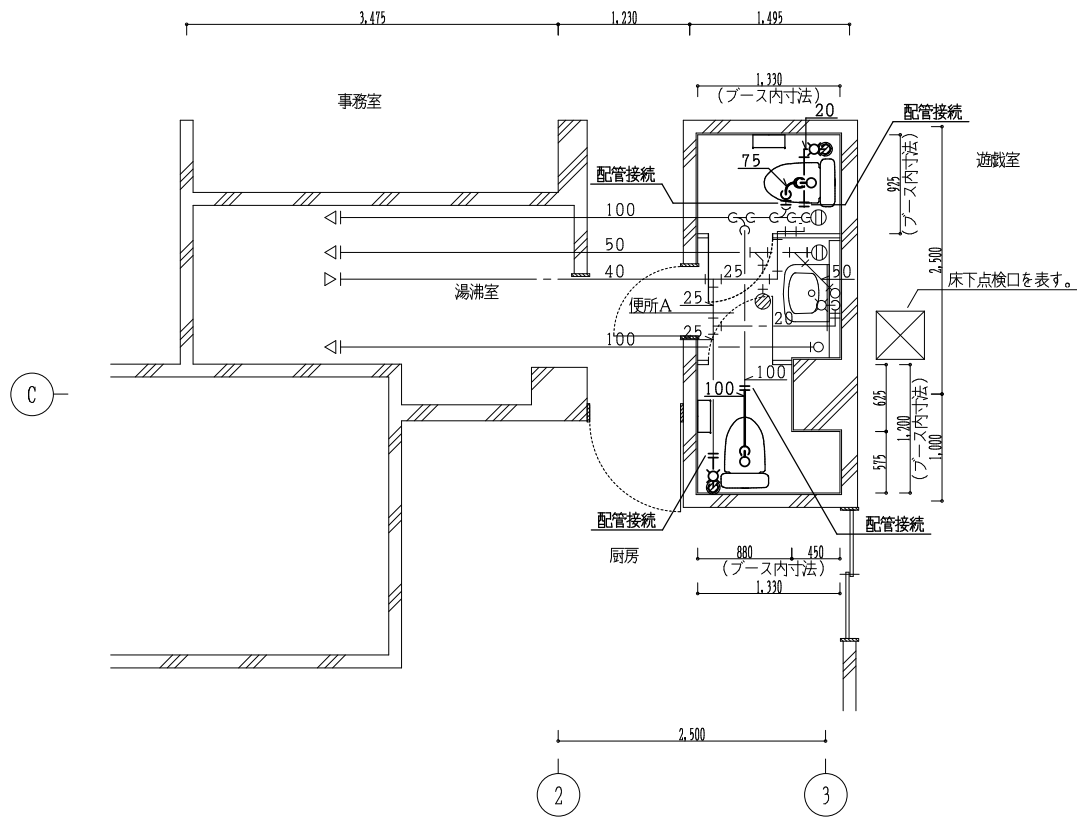
凡例

改修対象建物を示す



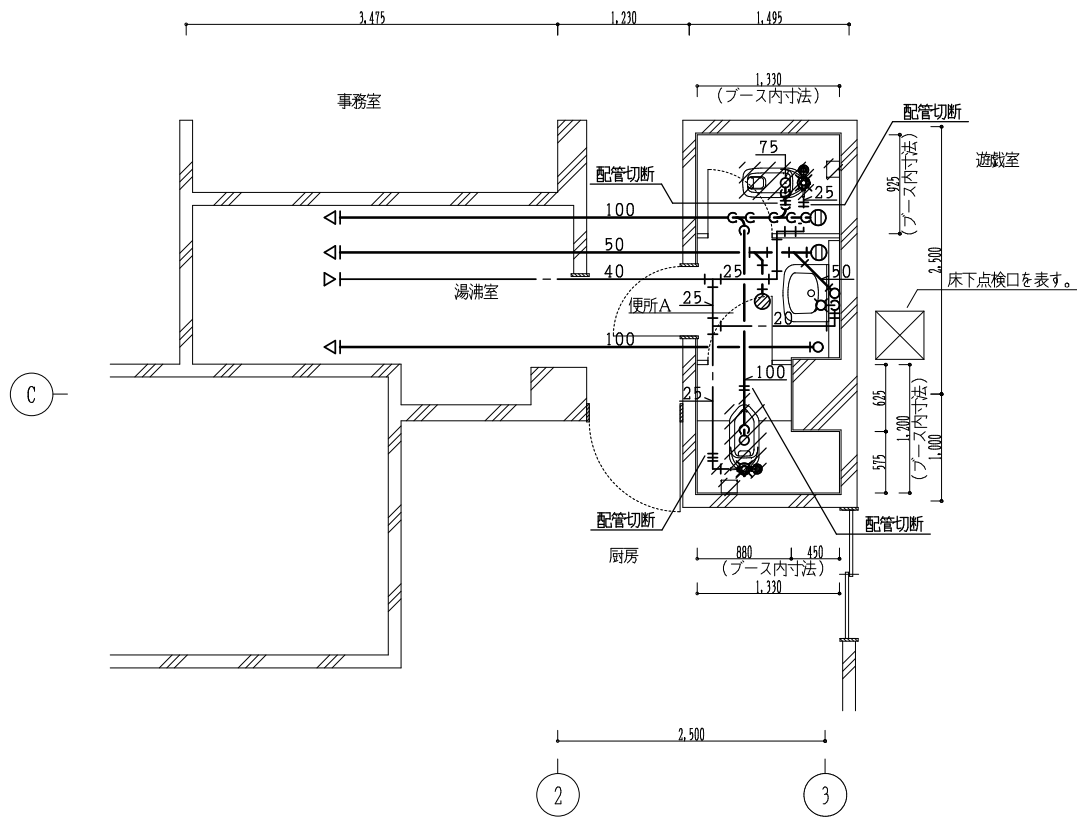
1 階平面図 S = 1 / 1 5 0

器 具 表 （再取付）						
器 具 名	品 番 (TOTO)	仕 様	合 計	便 所 A	便 所 D	便 所 E
洋風大便器（幼児用）	CS300B+TV560Q	床排水，床給水 床置大便器 FV式	1			1
	TC30 YH64SR	普通便座 ※紙巻器（SUS製）×1ヶのみ新設				
器 具 表 （新 設）						
器 具 名	品 番 (TOTO)	仕 様	合 計	便 所 A	便 所 D	便 所 E
洋風大便器	CFS498BYC	床排水，床給水 床置大便器 フラッシュタンク式 ストレート止水栓	3	2	1	
	TCF226 YH64SR	暖房便座（着座センサー），棚付紙巻器（2連，樹脂製）・・・AC100V				
洋風大便器（乳児用）	CS310B+S300BK	床排水，床給水 床置大便器 平付タンク式 ストレート止水栓	2		2	
	TC31R YH64SR	普通便座，棚付紙巻器（2連，樹脂製）				
洋風大便器（幼児用）	CS300B+TV560Q	床排水，床給水 床置大便器 FV式	1			1
	TC30 YH64SR	普通便座，棚付紙巻器（2連，樹脂製）				

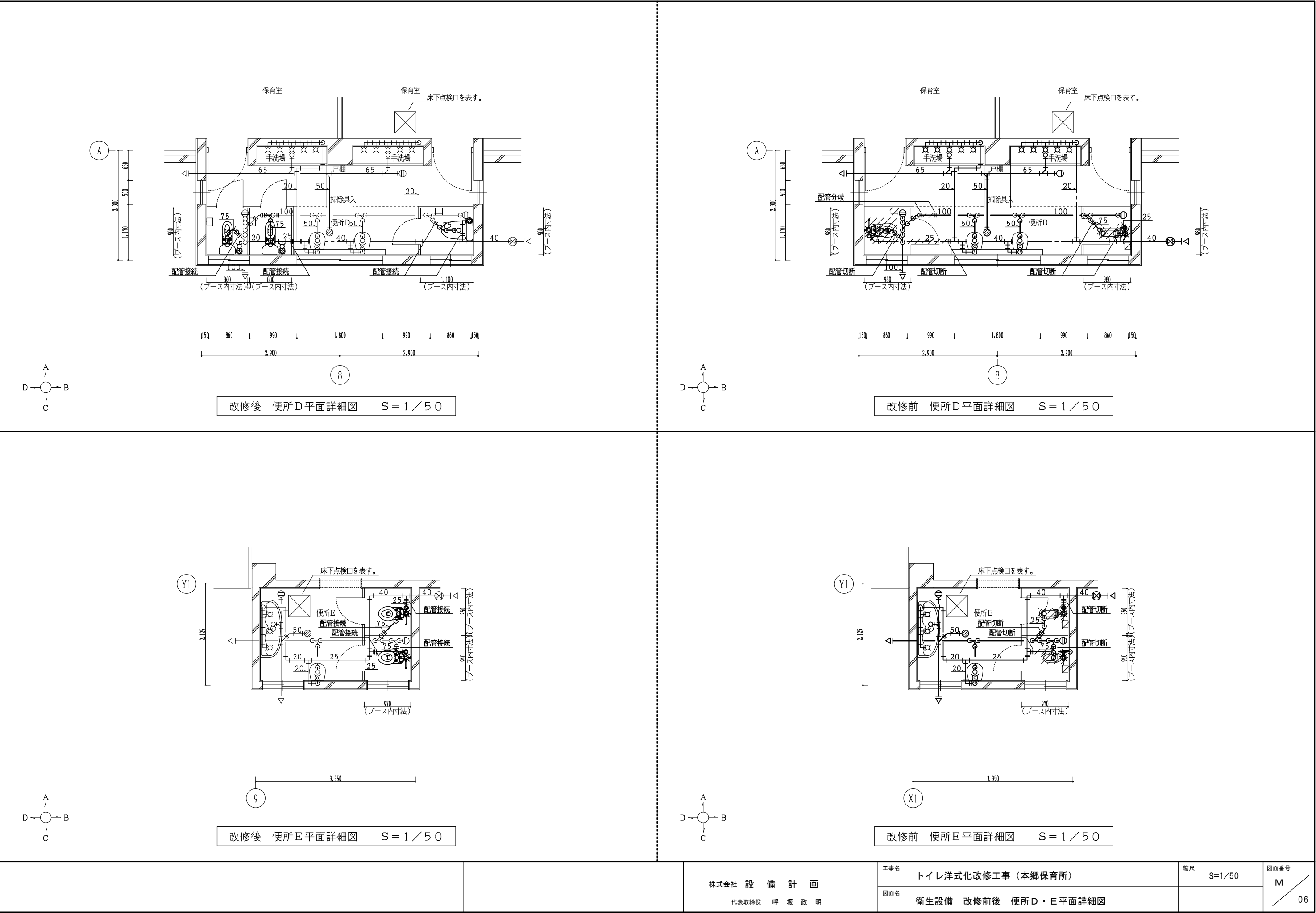


改修後 便所A平面詳細図 S = 1 / 50

器 具 表 （取外し）					
器 具 名	仕 様	合 計	便 所 A	便 所 D	便 所 E
洋風大便器（幼児用）	床排水，床給水 床置大便器 F V式	1		1	
	普通便座 ※紙巻器（SUS製）1ヶのみ撤去				
器 具 表 （撤 去）					
器 具 名	仕 様	合 計	便 所 A	便 所 D	便 所 E
和風便器	床排水，壁給水 隅付ロータンク	2	2		
	紙巻器（1連，SUS製）				
和風便器（乳児用）	床排水，壁給水 F V式	1		1	
	紙巻器（1連，SUS製）				
洋風大便器（乳児用）	床排水，壁給水 床置大便器 F V式	1			1
	普通便座 紙巻器（SUS製）				
和風便器（乳児用）	床排水，床給水 F V式	1			1
	紙巻器（1連，SUS製）				



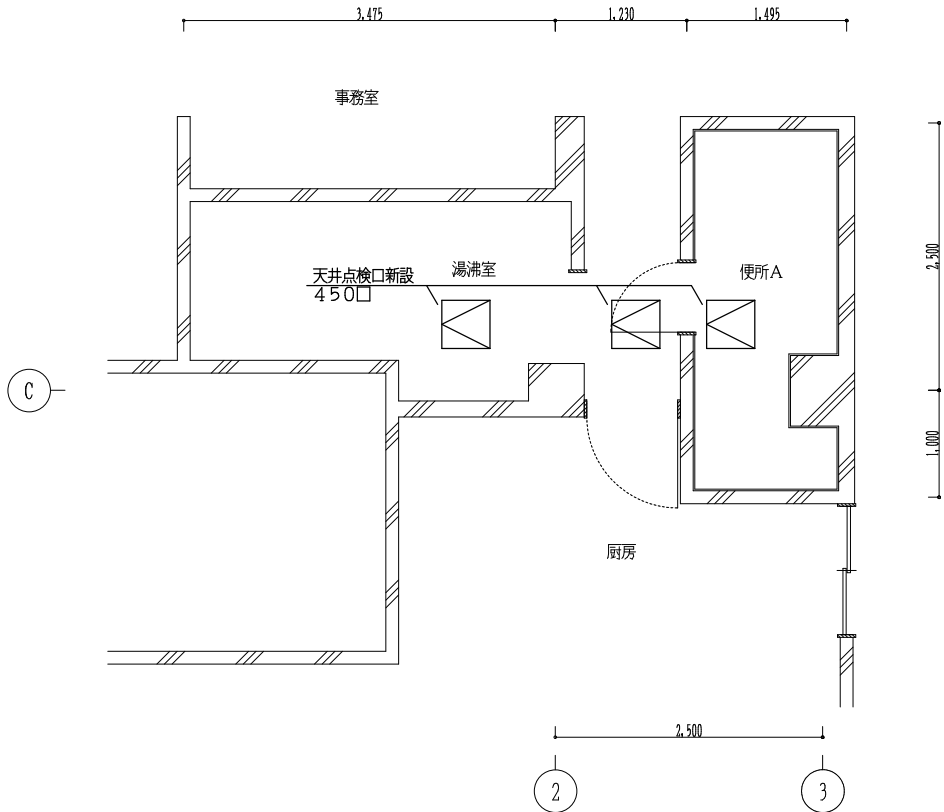
改修前 便所A平面詳細図 S = 1 / 50



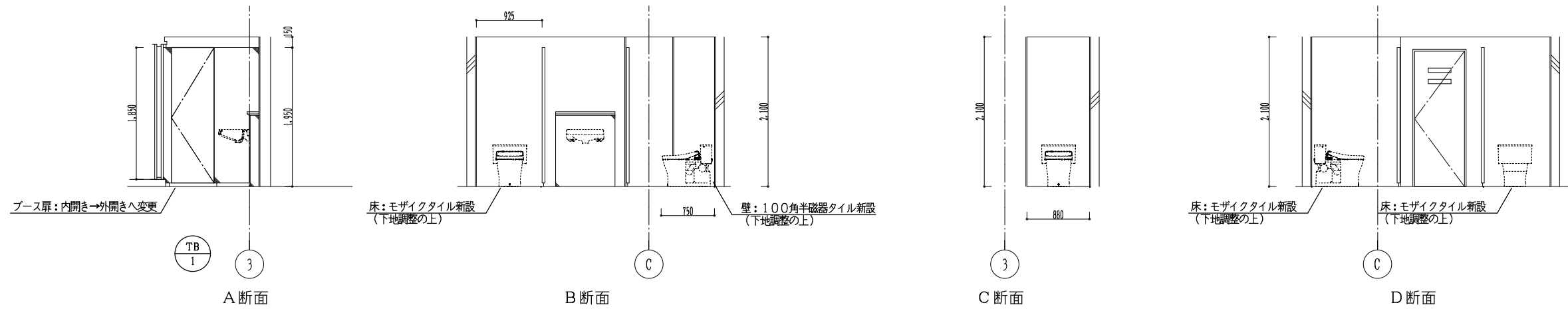
内部仕上表									
階	室名		床	下地	壁	下地	天	井	下地
1	便所A	改修前	磁器モザイクタイル 丸形 <一部撤去> (カッター切共)	モルタル	半磁器タイル 100角 <一部撤去>	モルタル	ケイ酸カルシウム板 @=6.0 (目透かし)	不燃	LGS
							※アスベスト含有品		
		改修後	磁器モザイクタイル 25角 <一部新設> (レベリングの上)	モルタル	半磁器タイル 100角 <一部新設> (※各所ビス穴等の不要な箇所はコーキング補修とする)	モルタル	<在来のまま> <3カ所点検口新設>		LGS
1	便所D	改修前	磁器モザイクタイル 丸形 <一部撤去> (カッター切共)	モルタル	半磁器タイル 100角 <一部撤去>	モルタル	ケイ酸カルシウム板 @=6.0 (目透かし)	不燃	LGS
							※アスベスト含有品		
		改修後	磁器モザイクタイル 25角 <一部新設> (レベリングの上)	モルタル	半磁器タイル 100角 <一部新設> (※各所ビス穴等の不要な箇所はコーキング補修とする)	モルタル	<在来のまま>		LGS
1	便所E	改修前	磁器モザイクタイル 丸形 <一部撤去> (カッター切共)	モルタル	半磁器タイル 100角 <一部撤去>	モルタル	ケイ酸カルシウム板 @=6.0 (目透かし)	不燃	LGS
							※アスベスト含有品		
		改修後	磁器モザイクタイル 25角 <一部新設> (レベリングの上)	モルタル	半磁器タイル 100角 <一部新設> (※各所ビス穴等の不要な箇所はコーキング補修とする)	モルタル	<在来のまま>		LGS
注)・室内各所養生・清掃を見込むこと。									
・各種撤去後のビス穴補修としてコーキング処理を見込むこと。									
・点検口新設部の天井材はアスベスト含有材のため再利用不可とする。									

建具表（改修前後）

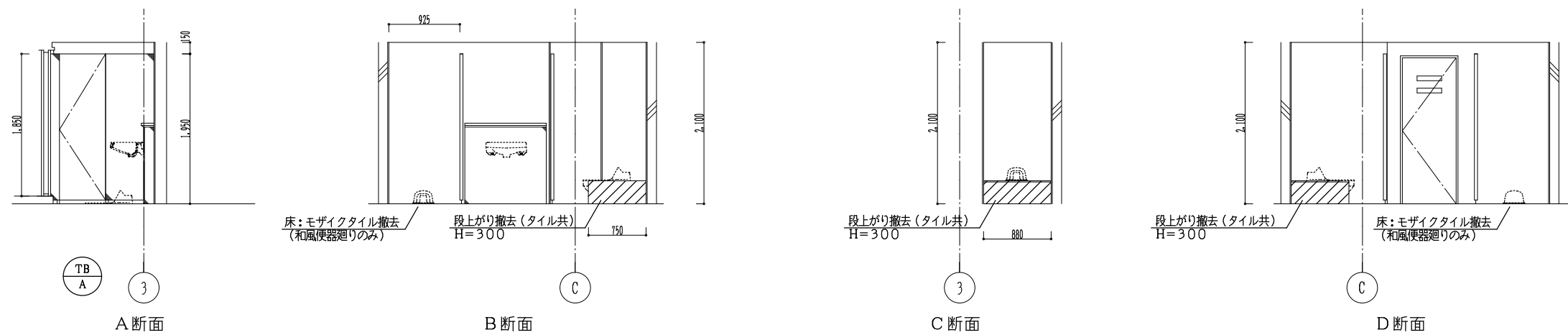
改修後		改修前		棟名称 階 数	数 量	新設扉寸法		既設扉寸法	
						W	H	W	H
TB 1	新設： 丁番型ヒンジ（上下共） スライドロック（表示付） 戸当りストッパー（外開き90度用）	TB A	撤去： ヒンジ（上下共） スライドロック 戸当たりストッパー	便所A	1	—	—	600	1,800
	既設再利用： トイレブース扉 袖側アルミエッジ		取外し： トイレブース扉 袖側アルミエッジ	便所E	1	—	—	500	1,000
TB 2	新設： 丁番型ヒンジ（上下共） スライドロック（表示付） 戸当りストッパー（外開き90度用） トイレブース扉 袖側アルミエッジ	TB B	撤去： ヒンジ（上下共） スライドロック 戸当たりストッパー トイレブース扉 袖側アルミエッジ	便所D	1	※図示による。			



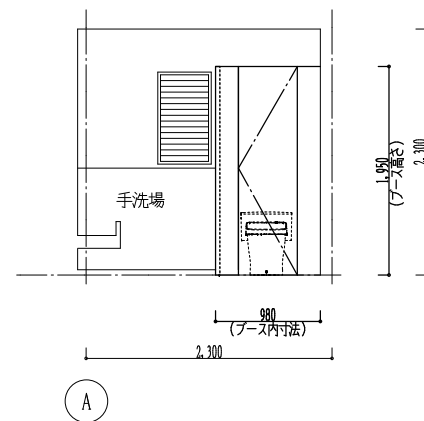
改修後 便所A 天伏図 S=1/50



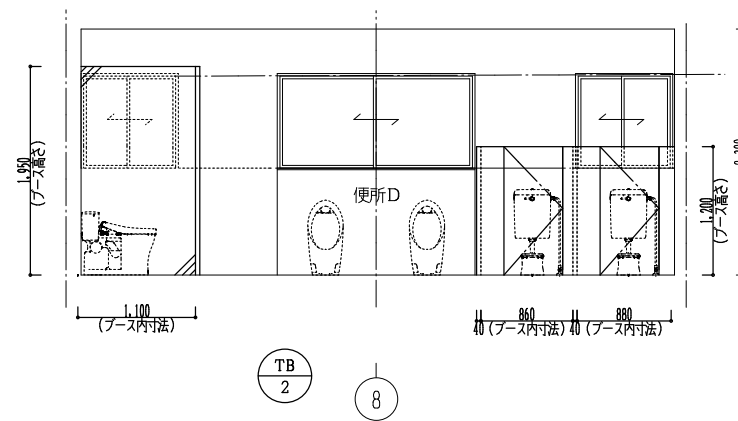
改修後 便所A展開図 S=1/50



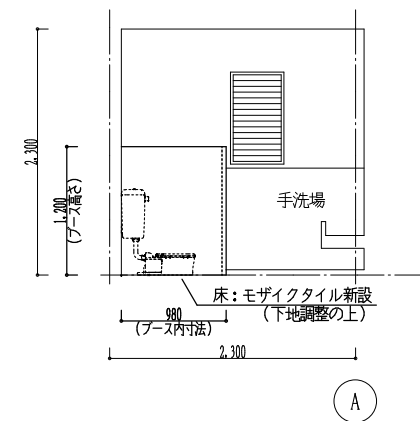
改修前 便所A展開図 S=1/50



B断面

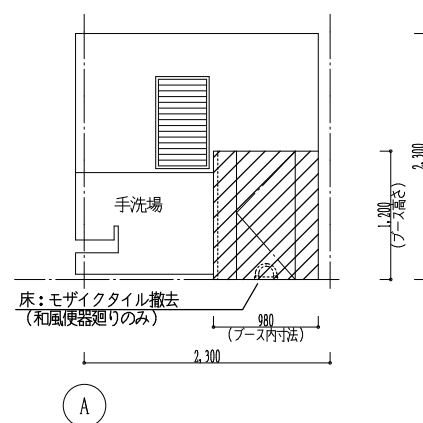


C断面

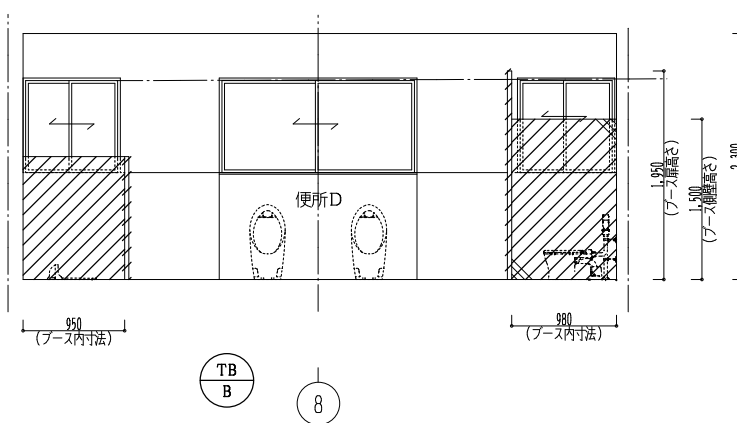


D断面

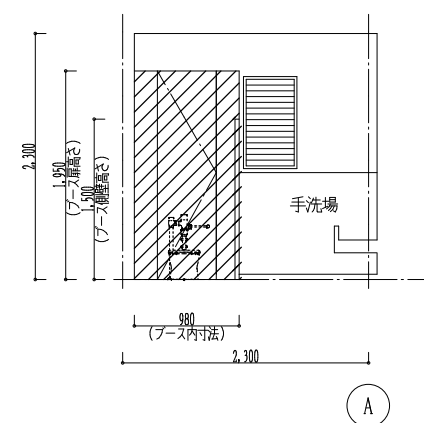
改修前 便所D展開図 S=1/50



B断面

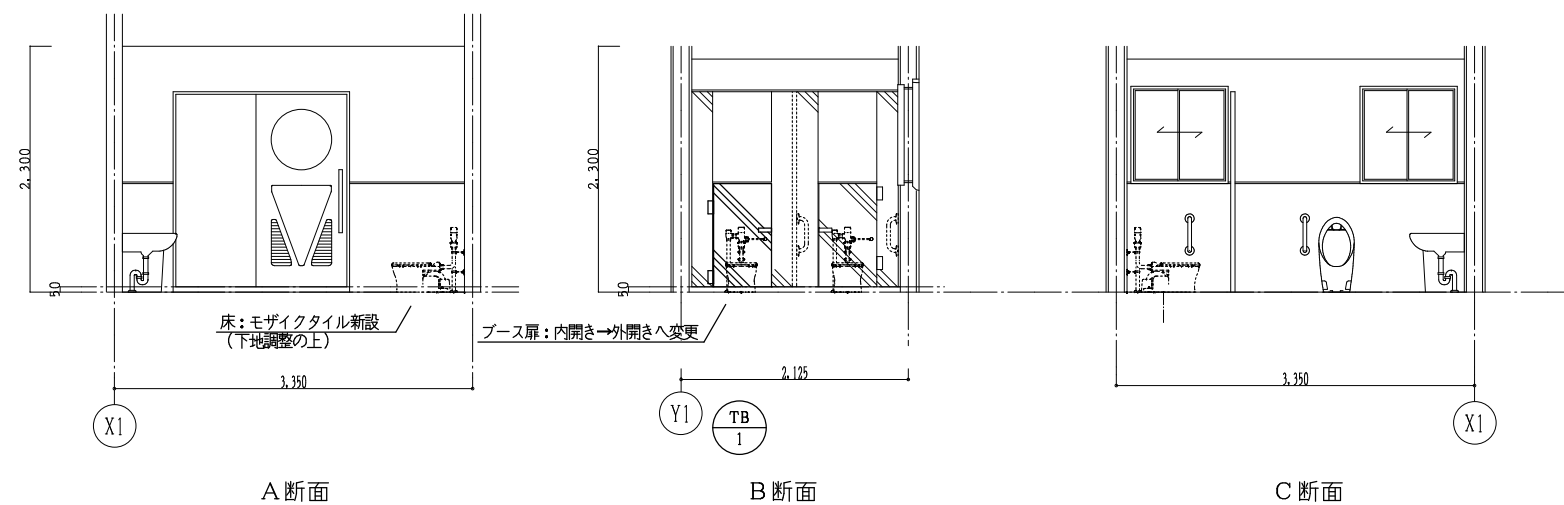


C断面

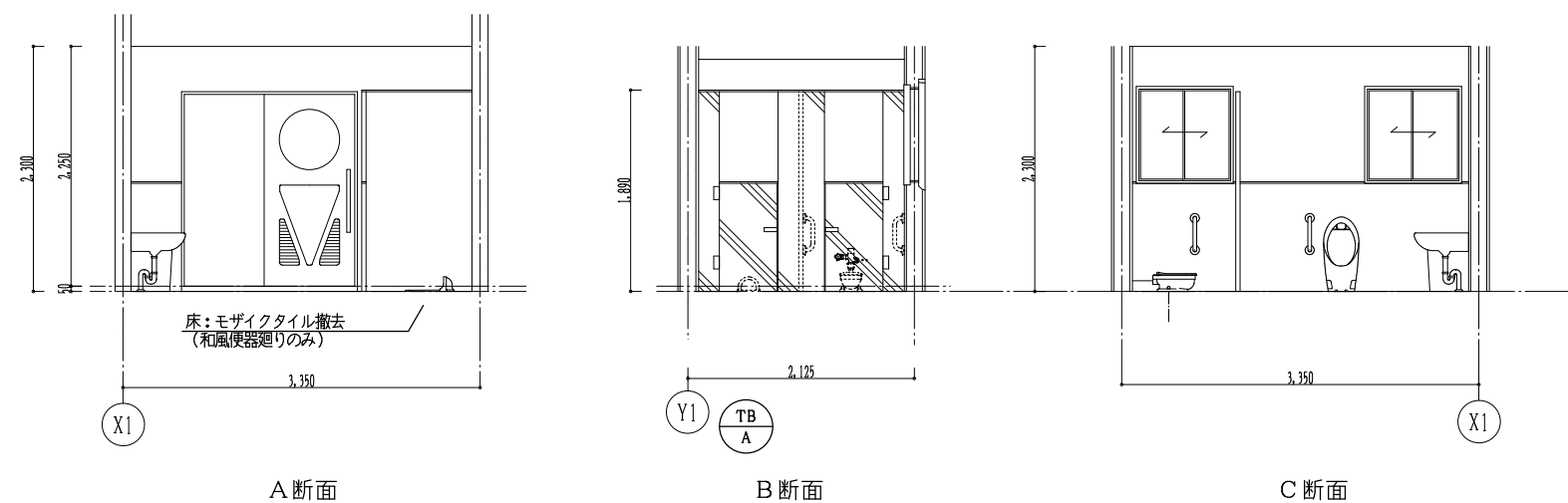


D断面

改修前 便所D展開図 S=1/50



改修後 便所E展開図 S = 1 / 5 0



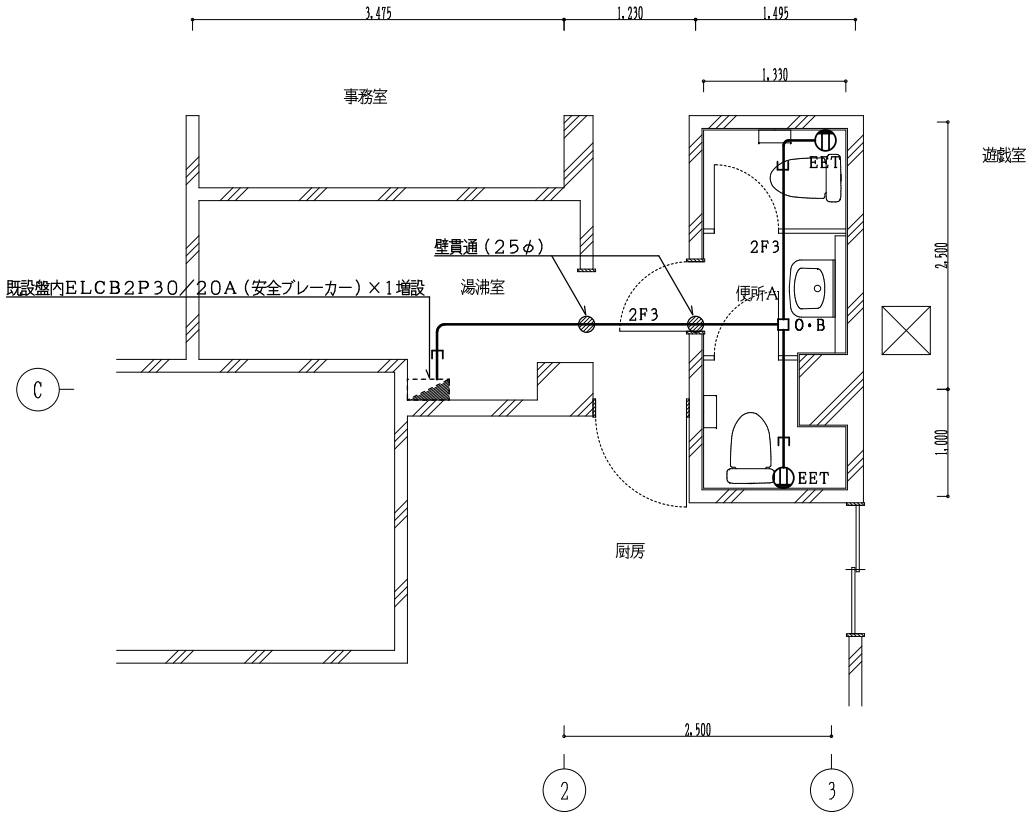
改修前 便所E展開図 S = 1 / 5 0

凡 例		
記 号	名 称	摘 要
Ⓜ EET	埋込コンセント	2P15A×1 接地極、接地端子付
□ O・B	アウトレットボックス	

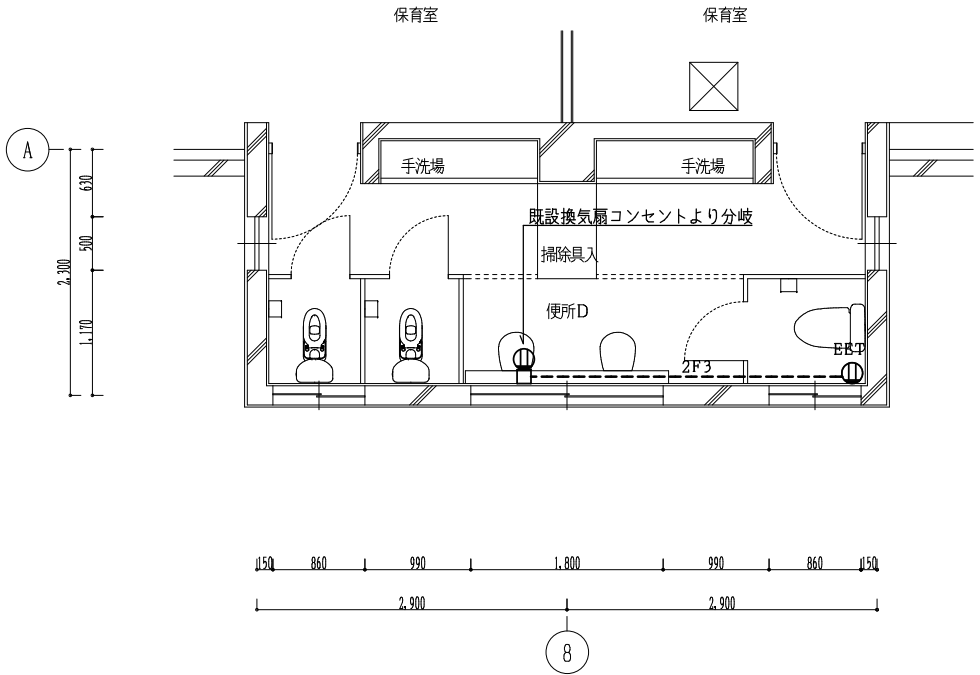
配 線 特 記

1) 図中記入なき配管配線は下記による。

---2F3---	EEF 2.0 - 3C	(MM1-A)
—2F3—	EEF 2.0 - 3C	(天井内ころがし)
—2F3—	EEF 2.0 - 3C	(MM1-A)



改修後 便所A平面詳細図 S = 1 / 5 0



改修後 便所D平面詳細図 S = 1 / 5 0

参 考 数 量 書

工 事 名 称 トイレ洋式化改修工事（本郷保育所）

[工事概要]

三原市本郷南五丁目

用 途 , 構 造 , 面 積

洋風大便器 7箇所

工 事 範 囲

一 式

別 途 発 注 工 事

な し

工 期

契約締結日の翌日から 令和 8 年 3 月 3 1 日までを工期とする.

一 般 事 項

《工事予算内訳》

設 計 金 額 ￥

(税込み)

〈内 訳〉

区 分

金 額

摘 要

工 事 価 格

消 費 税 額

設 計 金 額

工事費内訳

名 称		数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費					
機械設備工事		1	式		
建築工事		1	式		
電気設備工事		1	式		
計					
共通費					
共通仮設費		1	式		
現場管理費		1	式		
一般管理費等		1	式		
計					
工事価格		1	式		
消費税等相当額		1	式		消費税率 10 %
工事費		1	式		

工事種別内訳

[illegible]

機械設備工事 種目別内訳

[illegible]

建築工事 種目別内訳

[illegible]

電気設備工事 種目別内訳

[illegible]

機械設備工事 科目別内訳

機械設備工事

[illegible]

建築工事 科目別内訳

建築工事

[illegible]

電気設備工事 科目別内訳

電気設備工事

[illegible]

機械設備工事 中科目別内訳

機械設備工事

[illegible]

建築工事 中科目別内訳

建築工事

[illegible]

電気設備工事 中科目別内訳

電気設備工事

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

電気設備工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 別紙明細

[illegible]

機械設備工事 別紙明細

[illegible]

機械設備工事 別紙明細

[illegible]

機械設備工事 別紙明細

[illegible]

機械設備工事 別紙明細

[illegible]

機械設備工事 別紙明細

機械設備工事 発生材処理						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
スクラップ		1	式			別紙 00-0007
鉄屑	H2	0.03	t			
黄銅		12.6	kg			
計						
発生材処分		1	式			別紙 00-0008
コンクリート塊処分		0.23	t			
廃プラ処分		0.02	t			
ガラス・陶器くず処分		0.02	t			
アスベスト含有建材		0.01	t			
計						

機械設備工事 別紙明細

[illegible]

建築工事 別紙明細

建築工事		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
墨出し		1	式			別紙 00-0010
墨出し(内部改修)	複合改修	7	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0011
養生(内部改修)	塗装塗替え程度	7	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0012
整理清掃後片付け (内部改修)	塗装塗替え程度	7	m ²			
計						

建築工事 別紙明細

[illegible]

電気設備工事 別紙明細

電気設備工事		電灯設備		コンセント分岐		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
開閉器		1	式			別紙 00-0017
ブレーカー	ELB2P30/20A	1	個			
計						
配線器具		1	式			別紙 00-0018
コンセント (金属プレート付)	連用形2P15A×1 (接地極 接地端子付 一体形) 125V	3	個			
コンセント (金属プレート付)	連用形2P15A×1 - 125V	1	個			
計						
ケーブル		1	式			別紙 00-0019
600Vホリゾンタル絶縁 耐燃性ホリゾンタル ケーブル平形 EM-EEF	2.0mm- 3C 管内	9	m			
600Vホリゾンタル絶縁 耐燃性ホリゾンタル ケーブル平形 EM-EEF	2.0mm- 3C ビット・天井	4	m			
計						

電気設備工事 別紙明細

電気設備工事		電灯設備		コンセント分岐		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
金属線び		1	式			別紙 00-0020
1種金属線び(MM1)	A型(25.4mm)	9	m			
1種金属線び(MM1) 附属品	A型(25.4mm) コーナボックス	3	個			
1種金属線び(MM1) 附属品	A型(25.4mm) 1個用スイッチボックス	4	個			
計						
ボックス類		1	式			別紙 00-0021
合成樹脂製 アウトレットボックス(カバー付)	中四角 浅型 D44	1	個			
計						
はつり工事		1	式			別紙 00-0022
機械はつり(ダクト カッターによる 配管用貫通口)	100～150mm 25mm	2	か所			
計						

共通仮設費(積上) 明細

[illegible]